

報告

2008 年度 WG 活動報告

プラネタリウム WG 小野夏子☆

(板橋区立教育科学館 指定管理者：株式会社学習研究社)

学校への天文教育支援 WG 佐藤祐介 (北海道大学)、水野孝雄 (元東京学芸大学)

世界天文年プロジェクト WG 高橋 淳 (茨城県立水海道第一高等学校)

1. プラネタリウムWG

1.1 2008年度活動報告

WG参加メンバーには、メーリングリストにご登録いただいております。メーリングリストを通じての情報交換が、本WGの主な活動となっております。

2008年度には、「投影見学会を実施しよう」との声も上がりましたが、WGメンバーが広範囲に居られる事もあって、実施には至りませんでした。また、主要メンバーが「世界天文年」関連で多忙となった事も実施できなかった一要因と思われまます。

1.2 2009年度活動予定

(1) メーリングリストによる情報交換

WGの活動は、メーリングリスト上で行っております。WGとしての課題の討議だけでなく、所属施設の現状に関してもメーリングリストを通して情報交換をこれまで同様、行っています。

(2) 新しいプラネタリウムのありかた(?) について

「教育のためのプラネタリウム」の改訂版(新装版?)の発行も含め、昨今のプラネタリウム事情の変化を踏まえて、これからのプラネタリウムのありかたについて、検討を進めます。

プラネタリウムに限らず、地方自治体が運営する諸施設は、管理委託制度から直営あるいは指定管理者制度へと移行しています。指

定管理者制度を導入された施設では、短期間雇用だけでなく、短期間管理さえ危惧されまます。また、直営化した施設でも「仮に」「とりあえず」などと言われ、決して安心できる安定雇用という事態ではないように見受けられます。一方、プラネタリウムの設備面では、旧来スライド等による補助投影が主だった映像演出にデジタル化の波が押し寄せてきました。最近では、中央に星を映す投影機のない施設まで登場するなど、プラネタリウム施設のハード面も大きく様変わりしてきています。

番組制作は、多くのソフト会社から様々なコンテンツの提供がなされるようになってきました。多様な施設のニーズにこたえるべく多くのソフトメーカーが育ったというだけでなく、先の演出のデジタル化とも大きく関わっています。

状況が大きく変わってきていることを踏まえ、天文教育という見地から「プラネタリウムがどうあるべきか」を考え、情報収集をします。当研究会のプラネタリウムWGとして、「普遍なる教育のためのプラネタリウムのありかた」について追及してゆく所存です。

(3) その他

昨年度、実施できなかった投影見学会を実現させたいと考えています。(昨年度は、兵庫県の明石市立天文科学館が候補地としてあがりまました。)具体的な見学会の日程・会場が決まりましたら、天文教育誌上にもご連絡いたします。

2. 学校への天文教育支援 WG

2.1 2008 年度活動報告

(1) 天体観望会の開催

2008 年度に本 WG が天体観望会開催の要請を受け、受諾したものは小学校 4 校、中学校 1 校（いずれも東京都内）であった。

- ・2008 年 7 月 28 日（月）の日中に実施した東京都大田区立田園調布小学校での天体観望会については、2008 年の第 22 回天文教育研究会集録に詳しく述べてある。
- ・2008 年 8 月 21 日（木）に実施した東久留米市立東中学校での「天文教室」における講演と天体観望会についても第 22 回天文教育研究会集録に記述されている。
- ・2009 年 3 月 6 日（金）実施予定の立川市立大山小学校での天体観望会は、当日雨天のため中止となった（石井 馨氏、大金要次郎氏、大山智輝氏、芳野雅彦氏、水野孝雄氏が企画し、支援予定であった）。
- ・2009 年 3 月 19 日（木）に実施した武蔵村山市立第一小学校での天体観望会では、土星を中心に観望してもらった。参加者は親子合わせて約 50 名で、観望支援者は石井 馨氏、本間隆幸氏（この後にボランティア登録）、水野孝雄氏の 3 名であった。
- ・2009 年 5 月 8 日（金）実施予定の立川市立大山小学校での天体観望会は、またも雨天中止となった（3 月 6 日に中止となったため、是非もう一度と強い要望があった）。石井 馨氏、本間隆幸氏、水野孝雄氏が支援予定であった。

(2) 天文教育の相談窓口

2007 年 10 月 18 日に設置したが、観望会以外の天文教育相談は未だない。広報の必要性を感じている。

(3) 天文分野の指導例・実践例

その後、まだ充実されていない。

2.2 2009 年度活動予定

(1) 天体観望会の開催

- ・2009 年 7 月 2 日（木）に、大田区立田園調布小学校移動教室での天体観望会がすでに実施された。詳細は 2009 年の第 23 回天文教育研究会集録に述べられているが、東京都（石井 馨氏、芳野雅彦氏）だけでなく、三重県（生川雅章氏）と岐阜県（この後にボランティア登録した船越浩海氏）と神奈川県（「星クラブ横浜」の綿貫博孝氏と遠藤俊悠氏）の観望会支援者が協働した点で特長的である。
- ・2009 年度は全国的にさらにネットワークを広げ、その活用による観望会開催を模索したい。
- ・観望会開催ボランティアの募集を「天文教育」に掲載してもらおう。

(2) 今後の WG

WG を設立してから見直し期限の 3 年になるところである。この WG の活動目的を天体観望会開催とその他の活動とを分けて考え直す必要があるようだ。

3. 世界天文年プロジェクト WG

3.1 2008 年度活動報告

世界天文年（IYA2009）を迎え、WG として次のような活動を行った。なお、IYA 日本委員会・企画委員会には、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）、高橋 淳（茨城県立水海道第一高等学校）の 2 名が参加しており、同委員が主担当として実施した事業（主担当事業）に加え、WG としてサポートしている事業（支援事業）も併せて掲載した。

(1) 主担当事業

- ・キックオフシンポジウムの開催
2008年11月23日（サイエンスアゴ
ラにて）
- ・天文教育普及研究会 web の IYA 専用ペ
ージでの情報公開
http://tenkyo.net/iya/iya_index.html
- ・全国一斉オープニングイベント
2009年1月4日（ぐんま天文台にて）
松村会長参加
- ・世界天文年 2009 参加・実施マニュアル
の出版
<http://tenkyo.net/iya/manual/>
- ・日食グラスで月にかくれる太陽を見よう
日食グラス配布と、各種フィルター等
の透過度の測定、情報提供
- ・機関誌「天文教育」世界天文年特集記事

12月4日（土）～5日（日）

於：神戸

(2) 支援事業

- ・ユニバース・アウエネス
- ・めざせ 1000 万人！
みんなで星を見よう！
- ・ガリレオの望遠鏡精密復元プロジェクト
- ・東アジアの星の神話伝説
- ・プラネタリウム制作キットを用いた教育
プログラムの提案
- ・全国高校生日食観測会（Astro-HS）

プラネタリウム WG 代表 小野夏子☆

(2) 支援事業

- ・ユニバース・アウエネス
- ・めざせ 1000 万人！
みんなで星を見よう！
- ・ガリレオの望遠鏡精密復元プロジェクト
- ・東アジアの星の神話伝説
- ・「一家に1枚 天体望遠鏡 400年」ポスター
- ・プラネタリウム制作キットを用いた教育
プログラムの提案
- ・全国高校生日食観測会（Astro-HS）

学校への天文教育支援 WG 代表 佐藤祐介

学校への天文教育支援 WG 代表代行 水野孝雄

世界天文年プロジェクト WG 代表 高橋 淳

3.2 2009 年度活動予定

(1) 今年度活動予定事業（WG 主担当分）

- ・天文教育普及研究会 web の IYA 専用ペ
ージの運営、公開
- ・日食グラスで月にかくれる太陽を見よう
日食フィルター（各種）及び代用品等
の透過度測定、情報公開
- ・世界天文年グランドフィナーレ・天文教
育シンポジウム 2009（仮称）